

1 日時

令和6年6月4日（火）15:00～16:30

2 場所

本校会議室A

3 参加者

(1) 学校運営協議会委員 13名

- A氏（大学教授等）
- B氏（大学教授等）
- C氏（商工会代表）
- D氏（行政関係者）
- E氏（学習活動施設代表）
- F氏（学習活動施設代表）
- G氏（NPO代表）
- H氏（企業関係者）
- I氏（企業関係者）
- J氏（PTA代表）
- K氏（PTA代表）
- L氏（接続する学校の職員）
- M氏（当該校職員）

(2) 本校職員 9名

（校長）、副校長、事務長、総務部長、教務部長、生徒指導部長、進路指導部長、総合企画部長、スポーツ健康科学学系主任、国際科学学系主任

4 学校運営協議会内容

(1) 開会のことば

(2) 校長挨拶

新年度2ヶ月が過ぎ、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。本校は明治44年、西暦1911年に岩手県立花巻高等女学校として開校した学校で、創立113年を誇る歴史のある学校です。卒業生の中には、宮沢賢治の文学に影響を与えた、妹宮澤トシさんがいます。トシさんは開校の年の入学で、第2回生として卒業しました。その他皆様にお名前が知れているところでは、マラソンで活躍しました、那須川瑞穂さんが本校の卒業生ということになります。

本校は学系制をとっておりまして、人文科学、それから自然科学、スポーツ健康科学、国際科学の4学系からなっている、いわゆる特色のある学校です。県内各地から生徒たちが入学して参ります。本日は令和6年度学校経営計画及びスクール・ポリシー等の協議の後に、学校評価、学習指導、

生徒指導、進路指導等についても報告をさせていただきます。是非とも委員の皆様からは忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。

最後に本日、本校のソフトボール部、雨で順延になっていた決勝を行いました。毎年花巻東高校と地元校対決をしています。今回は3-2で勝って優勝し、長崎のインターハイへの出場が決まりました。教職員一同、生徒も含めまして大変喜んでいるところです。この記念すべき日に皆様にお越しいただいたということで、是非会の中身につきましても充実したものになればと思っております。本日はよろしく願いいたします。

### (3) 委員、職員紹介（自己紹介、資料の掲載順）

### (4) 委員委嘱

校長から

### (5) 会長、副会長選出

会長：A氏、副会長：C氏

### (6) 協議（進行：会長）

#### ア 令和6年度学校経営計画について（校長、資料 pp. 2-3）

- ・学校運営協議会は、学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行うということになっています。三つの権限があり、①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する、②学校運営について教育委員会又は校長に意見ができる、③教職員の任用に関して、教育委員会に意見ができる、ということです。コミュニティー・スクールのメリットは、組織的・継続的な体制の構築です。
- ・学校運営協議会構成の中心である「学校」として、様々な方面からの協力を得るということ、そして生徒自らが地域と協働して解決していくことを、学校教育の中で推進していきたいと考えております。
- ・資料 pp2-3 についての説明です（資料に沿って説明）。
- ・学校経営計画は、県へすでに報告をしているものです。委員の皆様からご意見をいただいた場合来年度以降に反映させ、経営計画に記載のないことでも必要性があれば、年度の途中でも実行していきたいと思っております。

#### イ ご意見・質疑応答

【L 氏】「4 目指す学校像(2) ICT の積極的な活用」ということで、小学校も中学校も 1 人一台で持ち始めているところですが、高校ではどのような形で今やっているのか教えていただきたいと思えます。

【教務部主任】学習用端末が 1 人一台になっておりますので、私たちの授業の在り方というのも変えていかなければならないと思っております。本校はセンターの研究協力校になっています。研究のテーマについても ICT を使った授業改善という研究テーマでございますので、一緒になって推進していきたいと考えておりました。

- 【A 氏】 岩手県内の中学校の方が高校より進んでいるのでは？
- 【L 氏】 今取り組み始めているところであり、活用して授業を進めています。
- 【A 氏】 ICT活用の点では秋田県が大変進んでいます。体育のバレーボールの授業では、授業中はずっと映像を撮っていて画面に3秒遅れて映像になりました。だから自分がスパイクする映像が撮ってあって、それを終わった後遅れて画面に出て自分のスパイクが見られました。秋田県の方が進んでいるなど実感しました。岩手県も様々な工夫や活用が望まれるところです。

#### ウ スクール・ポリシーについて（校長、資料 p4）

- ・スクール・ポリシーについては3つの方針①「グラデュエーション・ポリシー」で②「カリキュラム・ポリシー」。③「アドミッション・ポリシー」があります。在籍する生徒の状況・意向・期待、それから学校の歴史、現在の社会・地域の実情、将来の社会像・地域像といったところを踏まえながら、スクール・ポリシーを作っていくということになっております。
- ・配付資料で「このタイミングでお伝えしておきたいこと」と記した資料をご覧ください。今年の5月末に埼玉で開催された全国高等学校長協会総会の中で文科省担当者の方から説明があった資料になります（資料に沿っての説明）。
- ・本校のスクール・ポリシーにおいて、本校の将来ビジョンとして、多様な進路に対応し、生徒の希望する進路を実現すること、地域の発展と未来社会を担う人材の育成すること、としています。ただ、スクール・ポリシーはどうしても抽象的な形になっており、もう少し具体があってもいいのではと思っています。委員の方には必要なものがあれば付け加えていただき、より本校の特性を生かした教育を進めていきたいと思っています。

#### エ 意見・質疑応答

- 【A 氏】 何かどンドン時代が変わっているなど実感しているところです。5年前にくらべるとより個々に対して多様なアプローチを学校が考えています。皆様からご意見をいただきたく思います。
- 【J 氏】 PTAの立場からお話しします。例えば地域の小学生とか学童クラブの子たちを受け入れてカレーを作ってみるとかして、家庭だけではなくて全く知らない相手に対してやってみることができたらどうでしょうか。やれる子どもたちが先に走っていったら、活動が点から線になって行き、活動の幅が広がってくるのではないのでしょうか。
- 【A 氏】 高校生が主体的になって触れ合う経験というか、長期休業を使ったりしたらおもしろそうな企画だなと思って聞いていました。
- 【校 長】 もし本校でやっているとすれば、障がいのある子たちの運動会であるトライスポーツに、本校のスポーツ健康科学学系の生徒たちが行って、ボランティアとして活動しています。小学生・中学生との交流、まさに地域との交流といったことになりますと、本校に将来入学してくる中学生・小学生との交流にもつながります、そういった企画というのは考えていきたいと思っています。
- 【J 氏】 部活動として行ってもいいのかもしれませんが。
- 【A 氏】 あまり大きく考えずに小さいところからやるといいかもしれません。

- 【C 氏】商工会議所青年部でも、地域の問題解決や地域の発展のために取り組んでいます。生徒が皆で取り組む経験を通して、地元企業と触れ合うことによって地元を好きになったり、就職先や進路が見えてきたりすることと思います。自分の世代以外人との交流も取り組んでもいいのかなと思います。
- 【A 氏】農業高校とか専門高校だと地元の方と触れ合ったりして各学校で工夫なさっているようです。花巻という地域は、様々な種類の学校に恵まれています。先日東和町のクラフト市に行ったんですが、H氏が出店したところには、ものすごく多くの人が来ていました、
- 【H 氏】そうですね。毎年増えていますね。
- 【A 氏】いろんな方々がいらっしゃいますよね。様々お店がありました。
- 【H 氏】基本的に大人の、割と県外からいらっしゃる方々がほとんどというイメージですね。
- 【A 氏】そういうところに積極的に何か取り組んでもいいかもしれません。
- 【H 氏】本当になんでもありの世界です。
- 【J 氏】東和中学校も出店していました。
- 【A 氏】そこで、高校生が感じていることをアピールするのもいいですよ。ところで、学校から説明のありました協議事項、学校経営計画とスクール・ポリシーについて承認いただくということによろしいでしょうか（承認）。ありがとうございます。それでは報告に移らせていただきます。

## (7) 報告

### ア 本校の学校評価について（副校長、資料 pp. 14-17）

- ・14～15 ページをご覧ください（資料に沿った説明）。
- ・ウでは、1月31日現在の数値を示しています。その後年度末までに、4年生大学進学率が176人中の72人で41%となり、最終的に目標を達成しました。就職希望者も最終的に全員29名決定ということで100%となり、達成状況×から○に変わりました。
- ・16～17 ページをご覧ください。記号の見方については、「特にそう思う」「ややそう思う」を肯定的回答としてまとめた時に、その合計が90%以上の時に◎、あと80%以上90%未満の時○、70%以上80%未満が△、70%未満が何もなし、となります（その他、資料に沿った説明）。
- ・「(3) 生徒指導について」です。1と2については生徒の数字が一番高く出ています。これは教職員の取組に対しまして、生徒個々が置かれた立場や様々な生徒個人の捉え方が入ってきて、必ずしも学校取組の意図がすべて理解されているとは限らない結果と捉えています。生徒と教職員とのコミュニケーションを密にして、学校が目指す方向性に向かって共に進んでいく姿勢が一層必要になってくると思われまます。
- ・「(6) その他の事項について」です。3の「子どもを本校に入学させてよかったと思う」で合わせて92.1%の保護者から肯定的回答をいただいております。我々の取組に対してご理解いただいていると非常に感謝しております。生徒一人一人にとって自己実現ができて、充実した学校生活を送られるよう、保護者と連携を図りながら取り組んでいきたいと思っております。

### イ 本校の学習指導について（教務主任、資料なし）

- ・今年度から一人一台端末ということでスタートしました。今年度は教育センターのICT活用

の協力研究校になりましたので、どのような使い方をすべきか研鑽できればいいかなと考えております。

- ・本校ではClassi というベネッセの学習支援アプリを使用しています。Classi では学校から保護者への連絡も行われております。また授業以外にもっと学びたい、進研模試で少し点数を上げたいというような生徒に関しては Classi のなかの学習動画も豊富ですので、そちらの方で学習してもらおうというところが大きいです。授業の中では Office のチームズを使用しての課題配信やワークシートの配付という使い方を多くしているかと思えます。
- ・R 7年度から入試制度が変わりますので、note ですとか、学校ホームページもリニューアルをかけて地域の皆様や多くの中学生に、花巻南高校をうまくアピールできるような中身にしてまいりたいと思っております。皆様におかれましても6月に新しいホームページに更新したいと考えておりますので、何かの機会にはみていただければ幸いです。

#### ウ 本校の生徒指導について（生徒指導部長、資料なし）

- ・年度当初は自転車での事故等多くなる傾向がありますが、今年度は比較的少なめでした。自転車の乗車時のヘルメット着用が、昨年度から努力義務になっていて、ヘルメットを準備して着用した状態で通学するように生徒に伝えてます。今年度は100名以上がヘルメットを準備していますが、そのうちの何割かは自転車のかごに入れて、ヘルメット持ってきています。継続して呼びかけてヘルメット着用の必要性を訴えていきたいと考えています。
- ・生徒は実は、中学高校とコロナ禍の中で生活してきたので、コロナ前と比べて何がどう変わってきたか分かりません。実は応援活動が、三年間出来ずにおりましたので、花巻南高校の伝統の応援が継承できておりません。記録ビデオ等を見ながら、今の応援委員の生徒たちが応援活動を再開しはじめたというところですよ。先日高総体女子バレーボール決勝を体育館で全校応援をしました。その際は残念ながら応援委員が音頭をとるのではなく、バレーボール部のスタンドにいる部員たちにリードしてもらいながら、全校で盛り上がるという形をとりました。南高校で頑張っている生徒達をみんなで応援してみようという気持ちを持ってくれば、生徒自身の有用感とか満足度が上がってくるのかなと考えております。
- ・行事については、体育祭や文化祭も生徒たちからの要望を受けいれながら、何とか実施可能な部分を認めるところは認めて、より自主的な活動ができるよう考えております。
- ・高校生活で色々なことを経験して、少しでも大人に近づいた状態で世の中に出ていってほしいなと思い活動させております。部活動でも、高総体では勝ち負けに関わらず、一生懸命頑張ったという報告があり、充実している様子が見えます。

#### エ 本校の進路指導について（進路指導部長、資料 pp. 18-20）

- ・令和5年度は、国公立大学合格者は10名でした。総合型選抜、学校推薦型選抜では国公立合格者は8名、一般受験で合格2名です。合格率は5割でした。私立大学進学者は62名でした。本校の進路希望は多様です。担任を中心に個人面談をしながら進路の相談に応じております。本校では、年度途中で進路変更する生徒は多くありません。資料の数字はほぼ例年並みです。毎年80~90名程度が大学入学共通テストを受験しています。現3年生については100名を超える生徒が現在希望しています。

- ・昨年度から進路指導部としては1・2年生を中心に学力向上のための具体的な取組というものを出し、職員間で共通認識をして推し進めているところです。校訓の一つであります「明知」に関わる場所について、コンセンサスを取りました。大学入学共通テスト受験者の最終到達目標として、ある大学を設定して、ある大学の入試問題を6割以上得点できるということです。具体的には、長期休業明けの課題テストの全教科の実施、課外講習と模擬試験は学力向上のために実施すること、Classiによる学習動画の効果的な活用、模擬試験後のデータ分析、上位者対策です。
- ・就職については、本校は希望者はそれほど多くない状況ですが、ほとんどの生徒が9月の統一選考日のところで選考し、内定をもらいます。県内就職の希望者が多く、本校には就業支援員の方が丁寧に指導をしていただいております。
- ・公務員の方ですけれども、公務員試験は1次試験を突破するだけの基礎学力が必要ですが、残念ながら公務員の合格率は2割です。
- ・進路指導部に関係する項目について、昨年度から進路情報について学年通信の中に提供する形にしました。これによって、生徒や保護者に進路情報が確実に伝わると考えております。できるだけ多くの情報を提供したいと考えております。

## オ 意見・質疑応答

【D 氏】交通安全の件ですが、令和5年度花巻南高校はヘルメット着用モデル推進校でした。やはり着用率につきましては、学校だけではなくPTA、保護者の声掛けも必要だと思っています。自転車事故の7割～8割は頭に怪我を負うということもありますので、命を守るという観点では、もう少し強いプッシュを保護者にもしていただきたいです。

あと消費生活の関係です。学習にICTの活用がされているところですが、自動販売機も契約です。本当に身近な場面で、子どもでも契約行為を行える状況にある。18歳が成人年齢ですので、是非とも消費者教育という部分で1コマでも2コマでも機会を設けていただきたいと思います。実施にあたっては、市の消費生活センターの相談員が講師として生徒の皆さんにお話できるかと思っています。、ご検討いただければと思っています。

【D 氏】17ページの学校評価で、本校での生活について、生徒及び保護者の方の満足度が非常に高い数字で、素晴らしいと思います。具体的にどのようなことをされているのか、なぜこのような高い数字になったのか、分析とかアドバイスをいただきたいです。

【副校長】日常的に感じるのは、生徒が個々に先生に質問しに来たり、学習以外でも個々に生徒と先生が話をしていたりと、非常に対話がなされているなと感じています。先生方と生徒の距離が近い。学校行事においても、生徒が受け身ではなくて、生徒自身が自主的に動いており、先生主導ではなく、先生が生徒のサポートに回っています。生徒たち同士がしっかりお互いを応援しています。そういった関係ができていますなと感じています。

【A 氏】生徒たちはコロナ前を知らないです。そのため、集団で行うことに関して、生徒にとって本当に初めての体験となり、生徒にどう活動させるかはご苦労されているところだろうと思います。その中で生徒達の気持ちが高い数字で出ているということは、先生方がきちんと子供達に向き合っているからだと思っています。585人という生徒を抱える学校だから、今後の学校の方向性やコロナ明けの経験の積み重ねに期待したい。そして、少子化で

中学校の生徒数が小さくなる中で、小さい中学校から来た子たちが本校に入学してどうなるかが楽しみです。これからのご指導をよろしく願いしたいと思っております。

**(8) その他**

特になし

**(9) 校長謝辞**

委員の皆様におかれましては長時間に渡りまして、色々なご意見を頂戴しまして感謝いたします。委員の皆様の、色々な分野での専門のスキルや情報等を、是非私どもに提供していただき、本校がますます発展していくためにお力を貸していただければと思います。今後もよろしく願いいたします。

**(10) 閉会**